(C)デーリー東北新聞社

首都圏だより

歴史に思い 決意新た

横浜県人会、設立100周年式典

横浜青森県人会（濱谷博通会長）は23日、横浜市内で設立１００周年記念式典を開いた。関東大震災の後に郷土から救援物資が届けられたのを機に東北各県の県人会がつくられたとされており、参加者は長い歴史に思いをはせつつ、会の発展に決意を新たにした。

約70人が参加。濱谷会長は記念誌の編集を進めていることや、記念イベントとして横浜春節祭に青森ねぶたを展示したことなどを報告した上で「高齢化で会員が減少しているが、身の丈に合った活動で会の存続に努めたい」とあいさつ。

八戸市出身の佐々木さやか参院議員、東京青森県人会の柳田一弘会長らが来賓として祝辞を述べた。続く懇親会では、スコップ三味線などアトラクションの披露や、抽選会が行われた。

（今井崇雄）

さまざまなアトラクションが披露された懇親会